



お寺の掲示板には
住職前住職が「毎月」言葉を書いていきます。
通りがかりの人がメモをしたりしていますが
「意味を教えてもらいたい」と、
たずねられることもありますので
この「お寺の掲示板」のコーナーで
お伝えしていきたいと思います。

お寺の
掲示板

とし
年を重ね
かさ
できることが減りました
でも「ありがとう」が
ふ
増えました



（揭示月）2024年（令和6年）1月

新しい年を迎え、また、ひとつ年を重ねます。老いの三失と言います。

一、健康を失う。

血圧が高くなる、目が薄くなる、耳が遠くなる、足腰が弱る等々、年を重ねるごとに、老いを実感させられます。

二、仕事・役割を失う。

一定の年齢になると、これまでしてきた仕事・役割も、次の世代の方へ委ねていきます。

三、配偶者を失う。

長寿社会になったとはいえ、長年連れ添った大切な方とも、別れていきます。

失うことが多くなり、できることは減っていきますが、仏祖の加護と皆様の支えにより、日々の暮らしをさせていただいています。「おかげさま」「ありがとう」の日暮しです。

元旦から、「令和・能登半島地震」大きな被害、お見舞い申し上げます。被災された方々が、支援の人に対して、涙ながらに口々に「ありがとうございます」その映像を見ながら、東日本大震災の折に詠んだ、長谷川 櫂さんの短歌『被災せし老婆の口をもしつる』ご迷惑をおかけいたし申しわけありません』を重ね合わせ今月の言葉を味わっています。



1月の婦人会例会は、みんなで傘寿（80歳）のお祝いをしました。
これからもお元気でお過ごしくださいませ。



▲ 乾杯は最年長
103歳の山口 綾子さん



▲ 吉本 瑳代子さんがお祝いの詩吟を
吟じてくださいました。

▲ 向かって（左）岩田 慶子さん （右）多々良 悦子さん

2月の行事予定

16日（金）
宗祖命日
7時～ 永照寺本堂

18日（日）
婦人会例会
13時 永照寺門徒会館

御正忌年頭初参会【1月14日～16日】を
無事に勤修することができました。

法話は住職、前住職による自動でした。
寒い中またご多忙の中、参詣くださった御門信徒の皆様、
法要のお世話にご尽力いただいた婦人会の皆様、
受付世話人の方々、本当にありがとうございました。
多くの恩恵に感謝しながら大切な時間をすごすことができました。
まだご縁に遇われていないかたは是非おまいりください。
次回の法要は5月の引上会報恩講です。

※能登半島地震の義援金101,081円は西本願寺に送金しました。ご協力ありがとうございました。

お知らせ

●お経本は床に置かないでください。
●毎月16日は親鸞聖人命日（おあさじ）にお参りください。
●住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
●最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、
早めに連絡頂ければ助かります。（特にお寺で法事をする場合）

永照寺 開門・閉門の時間

・開門…6時30分
・閉門…18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。 離れて暮らすご家族にもオススメください。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。
http://www.eishouji.or.jp/

北九州 永照寺 検索

Blog Bonguan
凡愚庵

永照寺：住職のブログ【凡愚庵（ぼんぐあん）】も
合わせてご覧いただければ幸いです。
左記のホームページ内に移転しました。



モバイルは
このマークをカメラで
読み込んでください。

小倉御坊 永照寺だより
2024年2月号（第238号） 2024年2月1日発行

福岡県北九州市小倉北区大手町16-16 永照寺 TEL：093（582）7676 FAX：093（591）4989
【郵便振替口座番号】01790-4-46276 永照寺志納所